大腸癌（進行・再発）　　準1st Line

LV5FU（RPMI）療法

（　　）クール目

患者ＩＤ：@PATIENTID

患者氏名　：　@PATIENTNAME

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m²)
$HEIGHT01_Doc	$WHEIGHT01_Doc	#VALUE!

投与ｽｹｼﾞｭｰﾙ：　１クール　５６日（第１週～第６週で施行、第７、８週は休薬）

day 1　8　15　22　29　36　43（休薬）　50（休薬）

使 用 薬 剤　：　レボホリナート（l-LV）：（レボホリナート）25mg、100mg/V
フルオロウラシル：フルオロウラシル注（250mg/5mL、1000mg/20mL）

投 与 基 準　：　class Ｂ

投与量：

薬剤	標準投与量	計算値(mg)	投与量(mg)	施行日（day）
レボホリナート	250 mg/m²	#VALUE!		1･8･15･22･29･36
ﾌﾙｵﾛｳﾗｼﾙ(急速)	500 mg/m²	#VALUE!		1･8･15･22･29･36

《　タイムスケジュール　》

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

6月11日（木）　0時00分　①　生理食塩液 50mL ＋ グラニセトロン 1A
15分で点滴静注

6月18日　0時15分　②　ソリタ　Ｔ３号 500mL ＋ **レボホリナート注**　*mg*
6月25日　**２時間で**点滴静注（開始１時間後に③投与）

7月2日　1時15分　③　生理食塩液 40mL ＋ **フルオロウラシル注**　*mg*
7月9日　**②を開始して１時間後に**　0.00 mL
7月16日　15分以内で急速静注

2時15分　④　生理食塩液 50mL（フラッシュ）

REFERENCE

Nicholas Petrelli, Harold O. Douglass, Jr, Lemuel Herrera, et al : The modulation of fluorouracil with leucovorin in metastatic colorectal carcinoma: A prospective randomized phaze III trial.
J Clin Oncol 7 : 1419-1426, 1989

第7回化学療法プロトコール審査委員会承認：2009年4月30日　更新:2016年6月14日